

第150回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時場所

日時：2024年10月2日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵1階交流フロア

2 参加者8名

3 会議内容

<新規内容>

（1）Make Our Tanka 2 テーマ “街”

【概要】

- ・2023年の7月に開催したイベントの Make Our Tanka の2回目を実施したい。
- ・目的は、3つ。①新しい短歌を作ること。②短歌をきっかけに交流すること③図書館所蔵本を含む、関連書籍の展示。
- ・最初に、イベントと短歌の作成メソッドの説明。次にグループに分かれて短歌を作る。次に短歌をシェアし意見交換する。最後にイベントの感想を聞く。
- ・日時は、週末の午後2時から4時までと考えている。

【意見】

- ・対象は？
→どなたでも参加できるものにしたい。前回も小学生が参加した。
- ・第1回の参加者の年齢層は？
→小学生が1人、大学生が2人、60代が3、4人。女性と男性の比率が1対1。
- ・グループわけするのであれば、グループごとに1人スタッフがついての方が理想的。
→グループワークを2回実施する。1回目はグループごとにスタッフを配置する。
2回目は、スタッフとメンバーを分けずにグループを作ってグループワークを実施する。
- ・全くの初心者が来ても大丈夫か？
→リードしてくれる人がおり、グループで1つ作品を作るので大丈夫。
- ・チラシに「初心者でも大丈夫」と書くか醸し出すことで、初心者の参加を促す。
→前回は、チラシの作成が難しかった。今回は、前回の写真を使って魅力的なチラシを作りたい。
- ・大きな目標として、歌会始に応募してはどうか？
→短歌のルールとして1人が1つの作品を作るという暗黙の了解があり、今回のイベントはグループで短歌を作るため応募は難しい。だが、「一人で作るもの」という常識を変えていきたいと思う。
- ・グループで短歌を作る取り組みを他の図書館に広げていき、ビブリオバトルのように広が

れば面白そう。

・テーマを“街”にしたのは何故か？

→なんとなく思いついた。短歌は“街”から言葉を連想させて作るのであれば、“街”の単語が入っていなくてもよしとする。

・チラシにグループで短歌を作成することを明確にするべきだ。

→万葉集の時代は、“私たち”の歌を作っていたけれど、明治時代の短歌の革新運動によって、“私”の歌を作ろうになった。今回の取り組みは、“私たち”の短歌を作ろうになる。

・その年の大河ドラマを彷彿とさせるフレーズや、キャッチーな何かがチラシに入っていれば関心を集めやすい。

・前回のチラシは、デザインはいいけどシンプル過ぎて文字情報が少なく、何をやるイベントか分からないという意見があった。

(2) 知ろう、考えよう、行動しよう！「エシカルライフ」テーマ『環境と食』

【概要】

・自然・環境・すべての生き物に優しいライフスタイルを広め、持続可能な社会を目指す。

・私たちの普段の何気ない食生活が、現在の地球規模で起こっている様々な環境問題にどう影響しているのかを学ぶ

・食料の大量生産、主に工場畜産システムが及ぼす環境問題についてスライドを用いて説明する。

・クイズなどを取り入れて、一方通行にならないようにする。参加者との話しあいの時間を持ち双方向性のあるものにする。

【意見】

・対象が、“どなたでも”となっているが、小学校低学年も対象か？

→難しい。保護者が説明すれば大まかなことは分かると思う。楽しむイベントではないので退屈するかと思う。

・環境系のイベントは、人を集めるのが難しい。分かりやすいタイトルなどの工夫が必要。

・現在のタイトル案「知ろう・考えよう、行動しよう！エシカルライフ」もリズムが良い。

・エシカルとは？

→“エシカル”は、倫理的という意味。

・SDGsは日本にも浸透ってきていて関連もあるので導入に使って参加者を集めてはどうか？

→検討する。

・団体名の **Life of Earth** とは

→まちづくりプラザに登録している団体名。私一人の団体名で、**Cowspiracy** (映画) の鑑賞会を開きたいと考えて登録した。

・イベントで人を集めるには、信用できそうな肩書も大事。

・全ての生き物に優しいライフスタイルとは、個人的な考え方で、これは食べないとか偏っていると一部の人のみにしか響かないのではないか。

→こうしなければいけないではなく、事実を伝えて自分で考えてもらう形で実施したい。

・ことば蔵にも同じように問題提起している本があるので、活用してはどうか。

・映画の一部を使って紹介してはどうか？

・映画を一部でも流すには、許諾などが必要となるので確認が思う。

・多くの方は、今の生活を変えたくない。だから、今の生活を続けるために少し行動しませんかと問う形はどうか。

・ポスターやチラシで人が興味を引くようにクイズみたいな問いかけを入れる。

・2月のもったいない月間と関連させて実施することで興味を持たせる。

・もったいない月間に参加して交流フロアでのイベントについて知ることによって具体的に考えられるようになる。

<イベント報告>

(1) 9月21日(土曜日): 京都のこんな話・あんな話

2回目の開催で、20代から80代まで30人が参加。アンケートで色々な意見があったので検討する。2ヶ月前からチラシを配架したが集まりが悪かった。2か月前からの募集が早すぎたかもしれない。

(2) 9月25日(水曜日): 漫画を語ろう

参加者は6名。「忘れられない漫画」として、格闘漫画衝撃的だった試合内容や、人間関係が複雑に絡み合った恋愛漫画などが紹介された。次回は11月27日(水)18時30分から、テーマは「あき」と「おいしい」で開催。

(3) 9月29日(日曜日): 「外国に住んだことのあるあなた!」と「外国人のあなた!」の交流会

日本人の方6人、外国人の方4名、合わせて10人とスタッフ3人が参加。日本と外国の文化の違い、参加者の実体験をシェアして、外国人の方々が日本で良く暮らすために出来ることは何かを話した。参加者は話すことを目的に集まった方々だったこともあり、話が盛り上がった。シリーズ化するのであれば参加したいとの意見をもらった。機会があれば開催したい。

(4) 8月31日: わらべうたあそびとおはなしの会

わらべうたあそびの会は7回目、今回の形になって2回目だった。台風の影響でキャンセルが多かったが、図書館に来ていた方が当日参加してくれて、20人以上集まった。縄跳び遊びや手を繋いで遊ぶことが出来た。大型絵本の読み聞かせや昔話のストーリーテリン

グは好評だった。今回は、リピーターが少なく初めての人が多かった。

4 次回の運営会議 2024年11月6日(水) 18:30～ ことば蔵1階 交流フロア